

## 令和元年度 第2回見附市地域公共交通活性化協議会議事録（要旨）

令和2年2月25日（火）

14時30分～15時10分

見附市文化ホールアルカディア 小ホール

文責：事務局（見附市企画調整課） 渡邊

### 【会議出席者】 委員16名 オブザーバー2名 事務局5名

#### （委員）

見附市長：久住時男

長岡技術科学大学名誉教授：松本昌二

越後交通（株）栃尾営業所長：笹井 修

国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所計画課長：焼田聡

新潟県長岡地域振興局地域整備部計画調整課長：小林加津春

（代理：計画調整課 大久保利之）

見附市建設課長：高山明彦

見附タクシー協議会代表：長谷川信明

見附警察署長：高橋信之（代理：交通課 鈴木久美子）

見附市社会福祉協議会長：大原敬之助

今町ほのぼの田園地区ふれあい協議会長：高橋雅明

第二小区やすらぎの郷コミュニティ会長：家塚吉太郎

まちなか東コミュニティ会長：栗林信夫

国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局首席運輸企画専門官：渡邊毅士

新潟県交通政策局交通政策課長：酒井良尚（代理：地域交通課 石井優紀）

見附商工副会長：坂田政元

新潟県交通運輸産業労働組合協議会副議長：今井靖泰

（代理：執行委員 高橋哲文）

#### （オブザーバー）

見附市健康福祉課長：田伏真

見附市教育総務課長：森澤亜土

#### （事務局）

見附市企画調整課長：金井薫平

見附市企画調整課長補佐：遠藤拓央

見附市企画調整課：五十嵐直人

見附市企画調整課：寺澤正夫

見附市企画調整課：渡邊直樹

【開 会】 14 : 30

司会	<p>それでは定刻となりましたので、ただいまから、令和元年度 第二回見附市公共交通活性化協議会を開会いたします。</p> <p>はじめに協議会会長であります久住市長より挨拶をさせていただきます。</p>
会長	<p>本日はお忙しいところ、令和元年度 第2回見附市公共交通活性化協議会にご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>公共交通を取り巻く環境は、利用者の減少、慢性的な運転手不足等、依然として厳しい状況が続いております。</p> <p>従来の民間事業者頼みで公共交通を維持、確保するには難しい局面となっており、少子高齢化、人口減少社会を乗り切るためには、地方公共団体も一緒になって、持続可能な公共交通を構築していくために、施策展開が求められています。</p> <p>そんな中、当市では昨年7月に、「SDG s 未来都市」「自治体 SDG s モデル事業」に新潟県内で初めて認定されました。</p> <p>これは市の将来像として「スマートウェルネスみつけ」を掲げ、交流拠点を市街地に集約し、その間を公共交通でつなぐ「歩いて暮らせる健幸なまちづくり」が評価され、ウォークブルシティとして深化させていこうとする取り組みが、全国のモデルとして、認められたものです。</p> <p>改めて、本日までご出席いただいている越後交通様、見附市タクシー協議会様には、市のまちづくりを推進するための重要なエンジンである公共交通に対し、コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの運行にご協力いただき、感謝申し上げます。</p> <p>市街地を運行するコミュニティバスは、昨年10月より1台増車して7台体制となり、夕方以降の便が拡充されたことで利用者は好調に推移しており、今年度の目標値である18万5000人を達成する見込みです。</p> <p>デマンド型乗合タクシーは、下塩線の廃止に伴い、昨年10月から新たに杉澤地域にもエリアを拡大したところですが、新規ルートを中心に、全体的に利用者は増加しており、1月末で既に昨年度と同等の利用者数となっています。</p> <p>レンタサイクルも高校生の利用が増え、過去最高を更新しており、市民の中で、公共交通を利用する意識が確実に浸透してきている状況にあります。</p> <p>一方で、慢性的な運転手不足は、当市の公共交通にも大きな影響を与えており、それがコミュニティバスの増車や、デマンド型乗合タクシーの早朝、夕方便の対応を難しくしています。</p> <p>限りある資源の中、当市の公共交通が現在の水準を維持しながら、</p>

	<p>更なる利便性の向上を果たしていくためには、現在の公共交通網のダイヤやルートを改正してだけでなく、CO2 を排出しない電気自動車や自動運転といった新たなモビリティの動向や、様々な交通手段を1つのサービスとして捉え、ICT を活用してシームレスにつなぐMaaS（マース）といった先進技術を積極的に研究、検討していくことが重要であると考えており、そのための第1歩として、今年度、地域公共交通のマスタープランである、公共交通網形成計画（地域公共交通）の見直し作業に着手いたします。</p> <p>本日の協議会では、公共交通の更なる活性化に向けて、委員のみなさまからご意見をいただきたいと考えております。意義ある会議となるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>それでは、まず本日の資料の確認をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・資料1-1 令和2年度事業（案）</li> <li>・資料1-2 コミュニティバスのダイヤ改正・運行計画について（案）</li> <li>・資料1-3 令和2年度コミュニティバスダイヤ（案）</li> <li>・資料2 令和2年度収支予算（案）について</li> <li>・資料3 地域内フィーダー系統確保維持計画変更届出書（案）</li> </ul> <p>北陸信越運輸局からの地域公共交通シンポジウムの案内チラシ以上、資料に不足はございませんでしょうか。</p> <p>なお、各委員のご紹介につきましては、受付にて配布させていただいた委員名簿・座席表に代えさせていただきます。</p> <p>それでは今後の会議の進行については、協議会規約第十二条第一項に基づき、当協議会会長である見附市長よりお願いいたします。</p>
会長	<p>まず、規約第十二条第二項の規定によりまして、委員の過半数が出席していることから、会議が成立していることを報告させていただきます。</p> <p>それでは次第3の議事に移りたいと思います。議事1「令和2年度事業（案）」について事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p><b>【資料1-1】</b>に基づき説明</p>
会長	<p>ただいまの説明について、ご質疑はございませんか。</p> <p>ないようですので、「令和2年度事業」について、案の通り承認することでご異議ございませんでしょうか。</p> <p>ご異議がないようですので、承認することに決定しました。</p> <p>次に、議事2「コミュニティバスのダイヤ改正・運行計画」について事務局の説明を求めます。</p>

事務局	【資料 1-2、1-3】に基づき説明
会長	<p>ただいまの説明について、ご質疑はございませんか。</p> <p>ご質問がないようですので、「コミュニティバスのダイヤ改正・運行計画」につきまして、案の通り承認することでご異議ございませんでしょうか。</p> <p>ご異議がないようですので、承認することに決定しました。</p> <p>次に、議事 3「令和 2 年度収支予算（案）」について事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>【資料 2】に基づき説明</p> <p>平成 31 年度予算と比較して、増額となっている。増額理由としては、コミュニティバスの増車・増便、デマンド型乗合タクシーのエリア拡大、公共交通網形成計画策定の委託料などがあります。</p> <p>補足として、コミュニティバス運行経費は約 8 割が特別交付税で措置されているため、市の実質的な負担は約 20%となる。平成 30 年度決算では、運行経費約 4,000 万円のうち、市の自己負担は約 800 万円となっています。</p>
会長	ただいまの説明について、ご質疑はございませんか
新潟運輸支局	資料 1-1 との関連になるが、運賃以外の収入として車内・車外広告への取り組みが上がっているが、どのくらいの収入を見込んでいるか。
事務局	車外広告の取り組みは実施していないため、実績がある車内広告のみの見込となります。平成 30 年度事業で約 11 万 3 千円の収入がある。参考となる数値はそれを見込んでいます。
	<p>他にご質問はございますか。ないようですので、「令和 2 年度収支予算」について、承認することでご異議ございませんでしょうか。</p> <p>ご異議がないようですので、承認することに決定しました。</p> <p>次に、次第 4「地域内フィーダー系統確保維持計画変更届出書（案）」について事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>【資料 3】に基づき説明</p> <p>長岡市より運航継続しない旨の連絡があったため、1 日 1 便運航している、中之島便の廃止を報告。</p>
会長	<p>ただいまの説明について、質問はございませんか。</p> <p>ご質問がないようですので、「地域内フィーダー系統確保維持計画変更届出書」につきまして、報告は以上となります。</p> <p>続きまして次第 5、その他事項で事務局より報告があります。</p>

事務局	<p>昨年 10 月に実施したデマンド型乗合タクシー100 円引きキャンペーンとバリアフリー設備等整備事業の補助金対象事業者の福祉タクシー運行状況について報告をします。</p> <p><b>【デマンド型乗合タクシー100 円引きキャンペーン】</b>  昨年 10 月から杉澤地区を中心とした新ルートの運行を行いました。初めて運行する地域のため、利用促進キャンペーンとして 100 円引きを開催。10 月の利用実績は 471 回の利用があり、これは昨年同月の 331 回を大幅に上回ることができました。新ルートの周知はこの企画により一定の効果があったと思います。</p> <p><b>【福祉タクシーの利用実績】</b>  平成 31 年 1 月～令和 2 年 2 月までで 386 回の利用があり、多い時で 35～45 回の月も目立ち、順調に運用できているとの報告を受けています。</p>
会長	<p>全体を通じて、皆様よりご意見、ご質問、連絡事項等あればお願いします。</p>
新潟運輸支局	<p>チラシ、地域公共交通シンポジウム、住民主体による地域交通の実現に向けて一開催のお知らせの説明。</p>
松本先生	<p>今年度の実績は、次回の会議での報告となるか。資料に、ここまでの数値が記載されていると分かりやすくなると思う。</p>
事務局	<p>実績が 3 月に出るので、報告は次回会議で行う予定です。口頭になるが、1 月末までの通知を報告したい。コミュニティバス 156,634 人 (5,865 人増)、デマンド型乗合タクシー3,156 人 (355 人増)、レンタサイクル 1,577 回 (226 回増) となっている。コミュニティバスに関しては、185,000 人以上を見込んでいる。</p>
会長	<p>他にございますか。ないようでしたら、その他事項を終了したいと思います。</p> <p>さて、先日、SDGs フォーラムに参加し、公共交通の重要性を説明する機会がありました。また、土曜日には西村内閣特命担当大臣が見附市の視察に来られ、当初年間約 2 万の利用から、18 万人に数字を伸ばしたコミュニティバスについて説明を行ったところ、全国的にも利用者が伸びている例は珍しく、当市の公共交通の取組みについて熱心にメモを取り関心をよせていました。</p> <p>デマンド型乗合タクシーは、昨年 9 月末に路線バスが廃止となり見附市内の杉澤町周辺だけでなく、長岡市栃尾地区の下塩方面の方の公共交通もなくなりました。そのため、長岡市から要望があり、見附市のデマンド交通を延伸し、地域を超えた取り組みを行っています。今後も引き続き取り組んでいきたいと思います。</p> <p>最後に、この度、長年、見附市地域公共交通活性化協議会を支え</p>

	<p>ていただきました、長岡技術科学大学名誉教授の松本昌二先生が協議会委員を退任することになりました。松本先生から退任のご挨拶をいただきたいと思います。松本先生、お願いします。</p>
松本先生	<p>長岡技術科学大学を定年退職し 10 年となる。この度、故郷である東京に戻り、生活をする事とした。それに伴い、見附市の委員も退任することとした。退任のお話をした際に、後任として私と同じ大学の研究室にいた佐野先生を市へ紹介した。</p> <p>見附市では、小学校への訪問、見附市と三条市の勉強会への参加など私も勉強させていただいた。今日の話には出てこなかったが、コミュニティバスの今後のルートや時刻表に反映させていくため、人口分布や利用実態のデータを統計的に調査している。3 月末に分析が終了する。どのように改善するか個人的に楽しみである。</p> <p>長い間、大変ありがとうございました。</p>
司会	<p>松本先生、大変ありがとうございました。</p> <p>以上を持ちまして令和元年度第二回見附市地域公共交通活性化協議会を終了致します。</p> <p>本日はお忙しい中、ありがとうございました。</p>
<p><b>【閉会】 15:10</b></p>	